

産業建設分科会委員長報告

(令和6年3月22日)

産業建設分科会に付託されました議案について、審査の経過概要とその結果を報告します。

まず、第1号議案、令和6年度一般会計予算の本分科会所管分であります、その主なものは、

- ・ **総務費**では、新たに策定される「亀岡市地域公共交通計画」に基づき、地域ニーズに即したコミュニティバス、ふるさとバスをはじめとする市内公共交通における利便性の向上や、地域主体型交通の支援における、交通空白地域の解消及び交通ネットワークの構築等を図るためのバス交通関連事業。
- ・ **労働費**では、就職相談会の開催やオンラインスキルアップ支援など雇用対策のための就労支援事業。
- ・ **農林水産業費**では、オーガニックビレッジ宣言に基づき、亀岡オーガニック農業スクールによる育成プログラムの実施や、有機米等給食の導入支援など、有機農業の推進をはじめ、「亀岡牛」のブランド振興

を強化するなどの畜産振興事業^{ちくさんしんこう}や、豊かな森を育てる森林環境を整備するための森林経営管理制度の推進や、林業機械^{りんぎょう}の導入を支援していくとともに、木材を活用した木育おもちゃ等を新生児に誕生祝品^{いわいひん}として贈呈する取組などの森林活用推進事業。

- ・**商工費**では、次代をリードする新産業を創出するまちを目指すため、産学公連携拠点「オープンイノベーションセンター・亀岡」の運営や、起業家育成^{きぎょうか}のための支援コミュニティの構築や伴走支援^{ばんそう}を行う「かめおか共創支援プロジェクト^{きょうそうしえん}」、企業の立地を促進することによる地域経済の活性化と雇用機会の創出、商店街等のにぎわいづくり事業をはじめとする各種事業などの商工業振興対策事業。

また、大阪・関西万博を見据えた国内旅行誘客やインバウンド誘客に対応する各種事業を通じた観光振興、交流人口の増加に取り組む観光推進事業。

- ・**土木費**では、活気に満ちた都市活動と安全・安心で快適なまちづくりを支える強靱な道路や橋梁、河川等の整備事業や、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがあるまちづくりを推進するため、令和8年の「全国都市緑化フェア in 京都丹波」開催に向けて、南

丹市・京丹波町を含む2市1町と京都府が連携・協力し、事業を推進するための公園緑地整備事業および緑花推進事業。

・**災害復旧費**では、農業・林業用施設における小規模災害復旧事業への補助であります。

採決に先立ち、商工業振興対策経費に係る^{さんがくかん}産学官^{れんけいじぎょう}連携事業補助金について、補助金額の算定根拠が不明確であり、地域経済への波及効果が不十分であるとの**反対討論**がありましたが、一方で、第5次亀岡市総合計画に沿った着実な事業計画であるとの**賛成討論**がありました。

審査の中で意見として、商工業振興対策経費における「かめおか ^{きょうそうしえん}共創支援プロジェクト」と「オープンイノベーションセンター・亀岡」は地域経済発展のために両輪で取り組まれない。

全国都市緑化フェア in 京都丹波の市民機運醸成に向けてしっかりと取り組まれない。

安全なわが家の耐震化促進事業費における木造住宅耐震化促進の取組の拡充について十分に取組みたいとの意見がありましたが、

採決の結果は、賛成多数をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第6号議案、令和6年度 土地取得事業 特別会計予算**は、京都・亀岡保津川公園用地取得分のうち、市道保津宇津根並河線の拡幅部分の買い戻しによる、売り払い収入を一般会計に繰り出しするものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第8号議案、令和6年度 水道事業会計予算**は、市民生活と都市機能を支えるライフラインとして、安全・安心で良質な水の安定供給を行うとともに、老朽管耐震化工事や南丹市への水道用水供給事業などが主なものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第9号議案、令和6年度 下水道事業会計予算**は、下水道施設の統合や年谷浄化センター改築更新工

事、また同センターにおいて発生する消化ガスを再生可能エネルギーとして、官民連携により発電事業に活用する取組など、公共用水域^{すいいき}の水質保全と生活環境の改善を図るための事業が主なものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが、本分科会の報告といたします。